

第4章 イベントとコンベンション

1 札幌でのイベント開催状況

(1) さっぽろ雪まつり

さっぽろ雪まつりは、昭和25年、市内の中高校生たちが大通公園西7丁目に作った小さな雪像6基からスタートしました。寒く厳しい冬に、わずかの楽しみを求めて集まった市民は5万人を数え、小雪像を囲んでのスクエアダンスや映画会を楽しみました。

回を重ねるごとにその規模は拡大し、第6回から雪像の制作に自衛隊が携わることで、大雪像時代が到来しました。今では国内はもとより世界的に知られる冬の一大イベントになっています。

第60回雪まつりでは、第2会場を「さとらんど会場」から「つどーむ会場」に変更して開催しましたが、ご好評をいただき、予想を大きく上回る観客を迎えることができました。また、「大通会場」では、第59回のスケートリンクに続き、体験型の事業として11丁目に歩くスキーの体験コーナーを開設し、来場者の方々に気軽に冬のスポーツを楽しんでいただきました。



(URL) <http://www.snowfes.com/>

【第60回さっぽろ雪まつりの開催概要】

期 間	平成21年2月5日(木)～11日(水・祝) [7日間]	
会 場	大 通 会 場	大通西1～12丁目
	つどーむ会場	札幌市スポーツ交流施設「つどーむ」
	すすきの会場	駅前通(南4～7条)
行 事 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開会式(大通西8丁目 2月5日) ・ つどーむ会場オープニングセレモニー(つどーむ 2月5日) ・ 国際雪像コンクール 12チーム(大通西11丁目) ・ 市民雪像(大通 小雪像112基、中雪像3基) ・ スノーオブジェコンテスト(つどーむ 2月5日) ・ ステージイベント(各会場で会期中、多種多彩なイベントを実施) 	
雪氷像数	286基(大雪像4基、中雪像7基、大氷像2基、その他小雪氷像)	
雪輸送量	5tトラックで約6,100台(1月7日開始)	

【観客数、雪氷像数の推移(過去10年)】

	第51回 (平成12年)	第52回 (平成13年)	第53回 (平成14年)	第54回 (平成15年)	第55回 (平成16年)	第56回 (平成17年)	第57回 (平成18年)	第58回 (平成19年)	第59回 (平成20年)	第60回 (平成21年)
雪像数(基)	330	325	312	308	311	304	338	307	290	286
観客数 (千人)	2,168	2,344	2,297	2,233	2,179	2,191	1,985	2,101	2,159	2,080

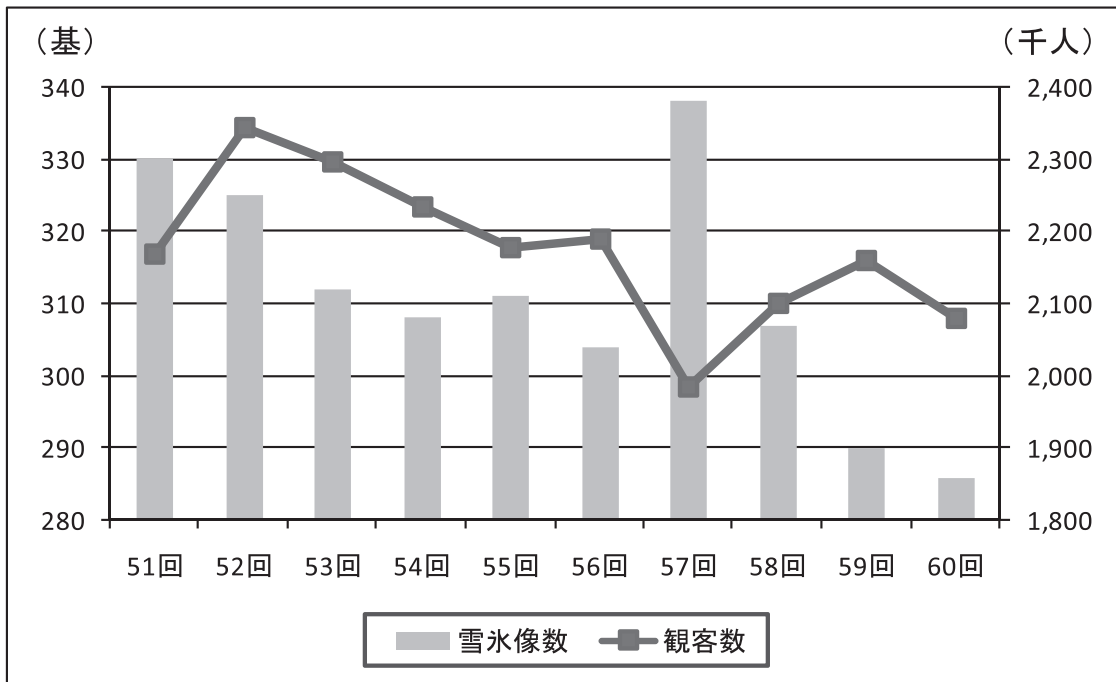


図 4-1 さっぽろ雪まつりの観客数、雪氷像数の推移

(2) YOSAKOIソーラン祭り

高知の「よさこい祭り」で、南国土佐の若者たちが情熱的に踊り舞うさまを目にした札幌の大学生が、翌年の平成4年、その感動を再現する新イベントを札幌に創り出しました。よさこい踊りとソーラン節という、日本の南と北の風物詩を組み合わせた「YOSAKOIソーラン祭り」の誕生です。

鳴子（なるこ）を手にし、あでやかな衣装に身を包んだ踊り子チームのそれぞれが、ソーラン節のオリジナルやアレンジ曲に合わせて独自のよさこい踊りを披露し、市内各会場で腕を競い合います。



提供：YOSAKOIソーラン祭り組織委員会

平成10年開催の第7回から、祭りの急速な規模拡大に対応するため、学生中心の実行委員会に代わって、経済界や本市などが加わり組織委員会が結成され、運営・管理体制の強化が図られました。

「エコと交流」をテーマにした今年の祭りでは、公式キャラクターのヨサコイチャピが、「北海道環境大使」として環境保護をPRしました。大通公園西8丁目のメインステージではグリーン電力を使用し、会場で配布するうちわの一部をエコ素材にするなどの取り組みも行われました。「ワールドソーラン」では台北体育学院の学生たちが参加し、留学生のチームやジュニアチームとともに演舞を披露するなど、世代や国境を超えた交流の輪が広がりました。

(URL) <http://www.yosakoi-soran.jp/>

【第17・18回YOSAKOIソーラン祭りの開催概要】

	第17回（平成20年度）	第18回（平成21年度）
期 間	平成20年6月4日(水)～8日(日)	平成21年6月10日(水)～14日(日)
会 場	大通公園を始めとする市内28会場	大通公園を始めとする市内25会場
参 加 者	延べ43,000人 330チーム	延べ33,000人 316チーム
うち市内	78チーム	80チーム
道内	94チーム	90チーム
その他	158チーム	146チーム
観 客 数	202万人	178万7,700人
経 済 効 果	245億2,135万円	220億3,850万円

【観客数、参加チーム数、参加者数の推移（過去10年）】

	第9回 (12年度)	第10回 (13年度)	第11回 (14年度)	第12回 (15年度)	第13回 (16年度)	第14回 (17年度)	第15回 (18年度)	第16回 (19年度)	第17回 (20年度)	第18回 (21年度)
参加チーム数	375	408	344	330	333	334	350	341	330	316
参加者(百人)	380	410	440	440	430	430	450	430	430	330
観客数(万人)	183	201	151	202	208	214	186	216	202	179

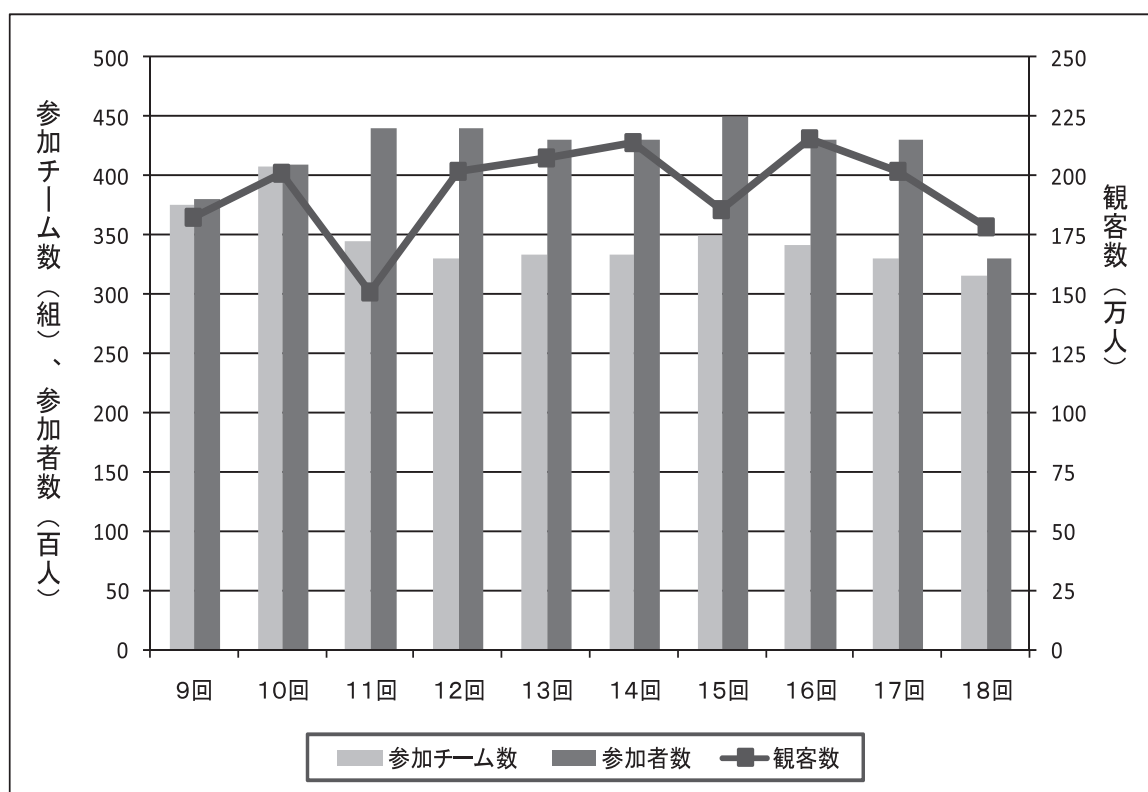


図 4-2 YOSAKOIソーラン祭りの観客数、参加チーム数、参加者数の推移

(3) さっぽろ夏まつり

昭和 29 年、夏の観光名物の新規開拓を目指して、それまで市内の各団体・地域がそれぞれ独自に実施してきた夏の行事が一つにまとめられました。「さっぽろ夏まつり」の誕生です。

現在、このまつりは毎年 7・8 月に 1 カ月間連続して開催され、大通会場をはじめ、狸まつり、すすきの祭りの 2 つのまつりと、各団体・各地域の催しものから構成されています。そしてこのイベントの中心となっているのが納涼ガーデンと盆踊りです。



まつりの前半には、メイン会場の「大通納涼ガーデン」に色とりどりのパラソルの花が咲き、ジョッキ数十万杯分の生ビールが市民や観光客ののどを潤します。後半に催される「北海盆踊り」では、提灯の列に彩られた夜の大通にやぐら太鼓が鳴り響き、大勢の市民と観光客で踊りの輪が広がっていきます。

(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/natsu/>

【第 56 回さっぽろ夏まつりの開催概要】

期 間：平成 21 年 7 月 21 日（火）～8 月 20 日（木）〔31 日間〕

行事等

	行 事 ・ 会 場	日 程
大 通	福祉協賛大通納涼ガーデン (西 4～8、10～12 丁目)	7 月 21 日～8 月 15 日
	北海盆踊り (西 2 丁目)	8 月 14 日～20 日
	※「仮装コンクール」(西 2・3 丁目)	8 月 20 日
	さっぽろバザール (西 5・7 丁目)	8 月 18 日～20 日
狸 小 路	第 56 回狸まつり	7 月 21 日～8 月 20 日
すすきの	第 45 回すすきの祭り	8 月 6 日～8 日

【ビール消費量および盆踊り参加者数の推移（過去 10 年）】

	第 47 回 (平成 12 年)	第 48 回 (平成 13 年)	第 49 回 (平成 14 年)	第 50 回 (平成 15 年)	第 51 回 (平成 16 年)	第 52 回 (平成 17 年)	第 53 回 (平成 18 年)	第 54 回 (平成 19 年)	第 55 回 (平成 20 年)	第 56 回 (平成 21 年)
ビール消費量(kℓ)	314	266	256	256	442	428	575	459	539	520
盆踊り参加者(千人)	230	172	127	173	149	84	87	101	108	91
平均最高気温(℃)	28.1	24.5	25.1	23.3	28.2	27.0	27.9	30.4	26.4	25.8

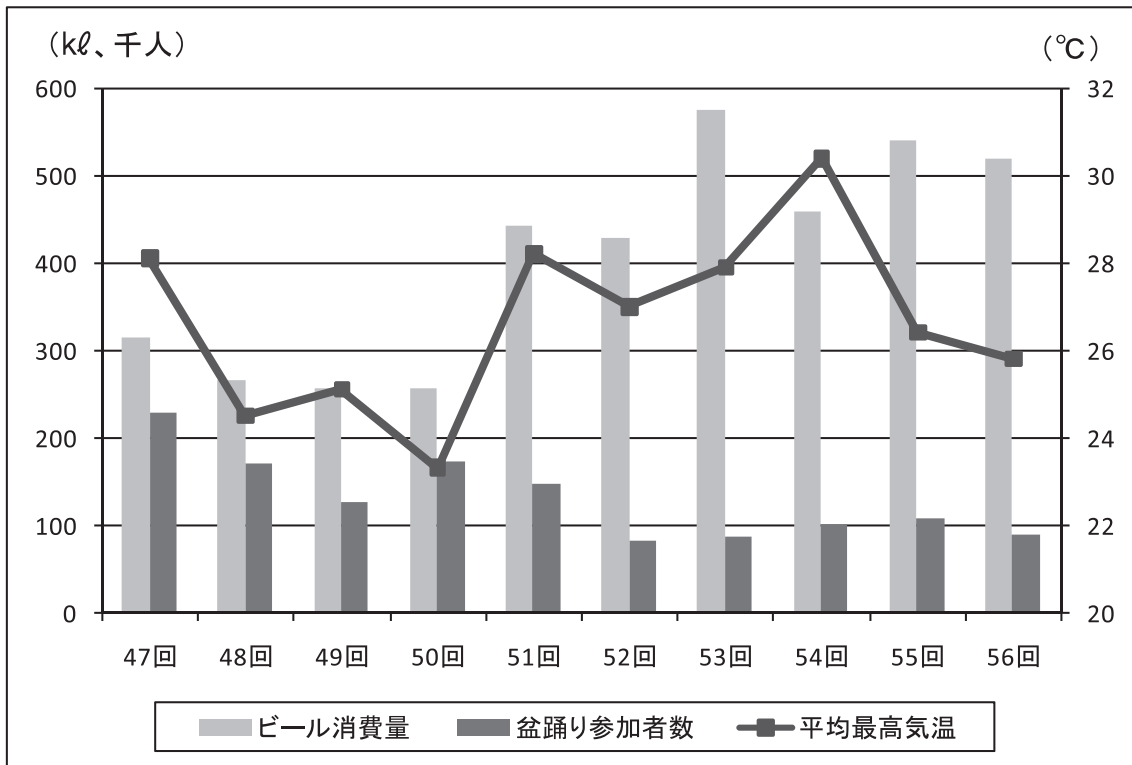


図 4-3 さっぽろ夏まつりのビール消費量及び盆踊り参加者数、平均最高気温の推移

(4) さっぽろライラックまつり

明治期に米国からもたらされて以来、ライラック（別名リラ）は多くの市民に愛され、街角や庭先を飾ってきました。昭和 34 年に「ロマンのまちらしい札幌のまつりを」という文化団体や芸術・文化人らの呼びかけで、ライラックまつりは始まりました。翌、昭和 35 年には、札幌市の人口 50 万人突破を記念して行われた市民投票で、市の花・木・鳥を決めた際に「札幌の木」として選ばれています。



毎年 5 月下旬の開花時期にあわせて開催される「さっぽろライラックまつり」は、半年あまりの長い冬からの開放と野外散策の季節の到来を市民に告げるイベントであり、昭和 34 年に第 1 回が開かれてから、平成 21 年で 51 回目を迎えました。

今年のライラックまつりでは、50 回に引き続き、第 2 会場として、白石区の川下公園でも、各種イベントを開催しました。

(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/lilac/>

【第 50・51 回さっぽろライラックまつりの開催概要】

	第 50 回（平成 20 年度）		第 51 回（平成 21 年度）	
期 間	平成 20 年 5 月 21 日（水） ～25 日（日）	6 月 1 日（日）	平成 21 年 5 月 20 日（水） ～24 日（日）	5 月 31 日（日）
会 場	大通公園西 4～7 丁目	川下公園	大通公園西 4～7 丁目	川下公園
行事等	苗木プレゼント、ライラック写生コーナー、野だて、ライラック音楽祭、似顔 絵コーナー、スタンプラリー、折紙教室、和紙ちぎり絵展示・教室、万華鏡の 体験・展示コーナー、喫茶コーナー、ワインガーデン、ライラック展示・相談 コーナー 他			
観客数	373,250 人		377,600 人	

(5) さっぽろ菊まつり

昭和 30 年代の園芸ブームに乗って菊作りの愛好者が増え、市民の関心が高まる中、それまでバラバラであった小規模な同好会の活動が一本化され、全市的なイベント「さっぽろ菊花展」が誕生しました。昭和 38 年の第 1 回開催から 4 年を経た第 5 回からは、名称が「さっぽろ菊まつり」に変わり、展示会から市民も催しの参加者となって共に楽しむまつりとなりました。



札幌市の秋の恒例行事として内外に定着したこのまつりは、現在、札幌地下街のオーロラタウンとポールタウン、地下鉄大通駅コンコースを会場として開催しています。「大輪 3 本仕立」、「懸崖仕立」など丹精込めた作品が 4 日間にわたって地下街の通り中央にずらりと並び、その数は毎年、約 8 百点に達します。

また、平成 14 年から、菊づくり愛好者の裾野を広げ、より多くの方が菊まつりに出展できるように、菊づくり講習会を実施しています。

(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/kiku/>

【2008 さっぽろ菊まつりの開催概要】

期 間	平成 20 年 10 月 31 日（金）～11 月 3 日（月・祝）〔4 日間〕
会 場	さっぽろ地下街オーロラタウン・ポールタウン、地下鉄大通駅コンコース
行 事 等	菊花プレゼント、菊花展、初心者相談コーナー、菊づくり講習会
観 客 数	140 万人
出 展 数	886 点

(6) さっぽろホワイトイルミネーション

昭和 56 年に、秋の観光シーズンと「さっぽろ雪まつり」をつなぐイベントとして始められ、当初は大通公園の西 2 丁目のみを会場に 1,048 個の電球からスタートしました。現在は、大通公園と駅前通りを会場とするに至り、37 万個もの電球が飾られたシンボルオブジェや立木が東西・南北両方向に街を貫きます。

27 回からは、南一条通り・さっぽろプロムナードが新会場として加わりました。



(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/white/>

【第 29 回さっぽろホワイトイルミネーションの開催概要】

会 期	大通公園会場 [大通西 1～8 丁目]	平成 21 年 11 月 27 日(金)～ 平成 22 年 1 月 3 日(日) 38 日間
	駅前通り会場 [北 4 条～南 4 条]	平成 21 年 11 月 27 日(金)～ 平成 22 年 2 月 11 日(木・祝) 77 日間
	南一条通り会場 [南 1 西 1～西 3]	平成 21 年 11 月 27 日(金)～ 平成 22 年 2 月 11 日(木・祝) 77 日間
点灯時間	16:30～22:30 (予定) (12 月 23、24、25 は 24:00 まで)	
総電球数	40 万個 (予定)	
行 事 等	ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo 大通西 2 丁目 11 月 27 日(金)～12 月 24 日(木)	

(7) さっぽろオータムフェスト

さっぽろオータムフェストは、「北海道・札幌の食」をメインテーマとし、札幌市内の魅力発信はもとより、道内市町村や民間事業者との連携を図り、道内各地域のアンテナショップとしての役割を果たし、北海道全体の活性化に貢献することを目的に平成 20 年度からスタートしました。

道内各市町村で採れた農産物や海産物、地元の食材を生かした個性あるご当地のグルメ、道産の酒やおつまみなどの特選品が並び、多くの来場者の方々に秋の味覚をお楽しみいただきました。



(URL) <http://www.sapporo-autumnfest.jp/>

【さっぽろオータムフェスト 2008 の開催概要】

期 間	平成 20 年 9 月 19 日（金）～10 月 5 日（日）〔17 日間〕
会 場	大通公園西 5 丁目～8 丁目
行 事 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ オープニングセレモニー（大通西 6 丁目野外ステージ 9 月 19 日） ・ 車載型大型ビジョンによる映像（大通西 5 丁目 毎日） ・ 野外ステージイベント（大通西 6 丁目 毎日） ・ 大道芸（大通西 6 丁目 土日） ・ バンド演奏（大通西 7 丁目 平日）
来 場 者 数	72 万 4 千人（目標 60 万人）

2 札幌でのコンベンション開催状況

(1) 札幌での主なコンベンション開催状況

(単位：件、%)

年 度	合 計		国際大会	全国大会	全道大会
	件 数	前年比(%)	件 数	件 数	件 数
16年度	842	138.5	41	92	709
17年度	872	103.6	33	89	750
18年度	911	104.5	64	222	625
19年度	952	104.5	67	112	773
20年度	1,059	111.2	109	183	767

(注) 関係機関、市内各大学各種団体に照会し、回答のあったものについて集計。

(2) 札幌コンベンションセンター稼働率（平成20年度）

	利用日(日)	稼働(%)
大ホール	268	79.8
特別会議場	166	49.4
中ホール	253	75.3
小ホール	221	65.8
会議室(15室)	265	78.9

総来場者数	332,874人
-------	----------

(注) 稼働率は、営業日数336日で計算。

参 考

国際コンベンション開催状況の他都市との比較

(単位：件)

2005年（平成17年）			2006年（平成18年）			2007年（平成19年）		
順位	都 市	件 数	順位	都 市	件 数	順位	都 市	件 数
1	東京(23区)	357	1	東京(23区)	460	1	東京(23区)	440
2	京都	137	2	京都	154	2	京都	183
3	名古屋	108	3	福岡	126	3	横浜	157
4	横浜	105	4	大阪	111	4	福岡	151
5	福岡	97	5	名古屋	109	5	名古屋	109
6	大阪	89	6	横浜	103	6	神戸	89
7	つくば地区	60	7	神戸	76	7	つくば地区	82
8	神戸	58	8	つくば地区	64	8	大阪	76
9	札幌	54	9	千里地区	49	9	仙台	51
10	仙台	42	10	札幌	48	10	札幌	44

(注) 「千里地区」とは豊中市、吹田市、茨木市、高槻市、箕面市を指す。

「つくば地区」とはつくば市、土浦市を指す。

<資料> 日本政府観光局（JNTO）コンベンション統計

※2007年からの新基準での各都市の開催件数を記載